

# NMA

## N a i l M i n e r a l A n a l y s i s

### 爪を用いたミネラル分析

最適な健康を構築するために自分の体内環境を把握しましょう

食生活の乱れや環境汚染の影響を的確に分析し不足している栄養素を知ることから最適な健康づくりがスタートします。



## 爪の分析検査について

### NMA (Nail Mineral Analysis)

爪の分析（以後NMAという）は、何十年も法医学の分野で行われてきた毛髪分析に比べて歴史は新しい分析ですが、毛髪と爪の組成は同じもので、時間的経過を伴う体内の重要な情報源であると言えます。

通常、血液や尿を用いてもミネラルや毒素の分析検査は可能ですが、これらの体液では時間的経過を把握することが困難なため、過去から現在までの体内状況を分析することには向いていない材料といえます。加えて、爪は血液検査のように針を刺して採取するものではないことから、痛みを伴わない最適な材料といえます。

NMAは、体内組織内に存在するミネラル濃度に関する情報を提供してくれます。爪に含まれる元素を分析することで、栄養素や有毒な金属がどれくらいの量体内に存在しているのかがわかります。また、体内に存在する水銀や鉛などの毒素が、慢性的なものか、そうでないものかも把握することができます。さらに、この分析によって、体内組織における栄養素としてのミネラルや微量ミネラルの過不足についても把握することができます。

#### ○ 日本人には不向きな材料としての毛髪

日本でもいくつかの検査施設や科学警察研究所などでは毛髪分析を行っている施設がありますが、分析結果に影響を与える物質がないわけではありません。

例えば、この5年ほどの間に日本人の老若男女問わず毛髪の染色、およびパーマが非常にポピュラーになりました。この染色剤やパーマ液に含まれる元素の中に、毛髪分析の結果に多大な影響を与える物質がいくつか含まれています。また、シャンプー、リンスに含まれる亜鉛成分が毛髪分析結果に及ぼす影響は計り知れません。実際に毛髪分析を実施している施設では、薬品によってこれらの物質を除去する前処理を行っていますが、正確な分析結果を得るためには十分ではありません。

65歳の高齢者（男性）が3年間継続して使用してきた染色剤の影響としてこんな実例がありました。この男性は前立腺ガンの末期症状にあり、体の免疫機能も衰退していました。

しかし、毛髪分析の結果コメントとしてこの男性の手元に返ってきた報告書にはこう書いてありました。「あなたの免疫機能は28歳の男性と同等のレベルにあり、非常に健康な状態です」これは、染色剤に含まれていた亜鉛の影響が出た例です。亜鉛は人間の免疫機能を活性させるために重要な働きを持つミネラルの1つですが、このように誤った分析結果が出しまったケースです。

毛髪分析を実施している施設は、このようなケースの場合、毛髪の変わりに恥毛、もしくは、ワキ毛を提出するように言いますが、もしあなたがこのようなケースになった場合、2gもの恥毛を悌毛するのでしょうか？

○ 日本人にとっては最適な分析材料「爪」

爪の構造は毛髪とほぼ同じで、毛髪分析で測定される各種ミネラルおよび微量ミネラルは爪を用いても実施可能です。爪は毛髪に比べても、比較的環境汚染物質の影響を受けにくい材料で、マニキュアなどを爪に塗っていても、リムーバーによって除去することで問題なく分析できます。毛染めやシャンプーによる分析結果への影響はありません。

分析に必要な爪の量は約0.2gで、両手の爪を1mmほど切っただけで十分な量になります。

○ NMAによって何がわかるのか？

NMAは、ミネラル、及び、微量ミネラルの体内濃度を把握するために優れた分析方法です。爪の構造は不変であるために、体内におけるミネラル、及び、微量ミネラルの濃度もまた時間の経過に関係なく不変です。また、血液を材料として血液中を流れているミネラル、及び、微量ミネラルの濃度を分析するのに比べ、過去の時間的経過による蓄積を把握できるために、ミネラルの吸収および代謝のバランスを推測することによって、ミネラルが大きく関わる栄養素や酵素の産生、代謝、細胞の活性などを的確に知ることができます。

以下に1例を挙げます。

元素	濃度低下による疾患兆候	濃度増加による疾患兆候
アルミ	特になし	アルツハイマー病の可能性
ヒ素	特になし	腹痛・脱毛
バリウム	特になし	高血圧、腸の吸収障害
ベリリウム	特になし	肺疾患
ボロン	カルシウムの吸収障害	発育遅滞、下痢
カドミウム	特になし	高血圧、発ガンの危険性大、特に前立線ガン
カルシウム	不眠症、筋肉のけいれん、 発育遅滞、高血圧、 骨粗しょう症	
塩素	胃酸産生低下による 消化障害	高血圧、貧血
クロム	動脈硬化症、低血糖症、 糖尿病	皮膚障害の可能性
コバルト	ビタミンB12の欠乏	血中鉄分低下を引き起こす
亜鉛	免疫機能低下、感染症誘発、 前立線機能障害、発育遅滞、 脱毛、酵素産生障害、 消化系障害、味覚・臭覚障害、 糖尿病	鉄・銅の吸収障害

私どもでは、皆様が爪分析検査の結果を通して、最適最良の健康を造り、それを維持することを応援いたします。

最適最良の健康造りはご自分の体内環境を知ることからスタートします。

# 爪分析検査申込ガイド

## 1. 検査プロフィール

NMAプロフィールでは以下の\* 28種類の元素を分析します。

\*場合によってヨウ素が入り29種類になります

### ○栄養元素

- ・ ボロン・カルシウム・クロム（Ⅲ）・コバルト・銅・ゲルマニウム・金・鉄
- ・ リチウム・マグネシウム・マンガン・モリブデン・リン・カリウム・セレンウム
- ・ ケイ素・ストロンチウム・ナトリウム・バナジウム・亜鉛

### ○毒素およびその他の元素

- ・ アルミニウム・ヒ素・バリウム・ベリリウム・カドミウム・水銀・鉛・ニッケル

## 2. 検査施設について

毛髪検査と同様に、残念ながら、日本国内には爪を材料とする分析検査の十分な基礎データを保有している検査施設がありません。

検査委託先：栄養医学研究所→ドイツMTM社

栄養医学研究所では権威があり、有数のデータベースを持つドイツのMTM社と独占契約を結び分析を委託しております。

## 3. NMA（爪分析）検査の申し込み方法

添付いたしましたジップパックに爪を入れ、NMA検査申し込み用紙と一緒に投函ください。\*申込用紙へは必ず押印ください

## 4. NMA検査料金

15,750円（内750円は消費税です）

## 5. 報告書について

報告書は日本語に翻訳されたものを郵送にてお届けいたします。お客様の爪をお預かりしてから約16日でご報告いたします。

## 6. 爪サンプル量と取り方

分析に用いる爪は最低0.2g必要になります。この分量は両手指10本の爪を各1.5mmほど切っていただく量に相当します。手の爪で足りない場合には足の爪を切り足してください。

- 注意**
- 1) 爪採取を行う場合必ず当日中に全容量（0.2g）採取してください。
  - 2) 爪の分量が少ない場合には、分析が不可能になることもあります。
  - 3) 爪を切る場合には鉄製ではなくステンレス製の爪切りをご使用ください。  
（鉄が刃こぼれをおこしサンプルに混入した場合正確なデータができません）
  - 4) 爪採取後2週間以内にお送りください。

## 7. サンプルの送り方

添付されているNMA検査申込書兼承諾書と事前質問書に必要事項をご記入のうえ付属のジップパック（ビニール袋）にローマ字でお名前を記入し切った爪を入れて同封の返信用封筒に入れて投函ください。


宛先：NMA窓口 栄養医学研究所 係  
〒350-1115 埼玉県川越市野田町2丁目2番1号

## 8. 検査料金について

検査料金は、検査お申し込みと同時に当施設窓口でお支払いください。

## 9. お問い合わせ

内容に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

 Medical Guide  
メディカルガイド株式会社

京都市下京区東塩小路町・2F

TEL：075-353-4477

FAX：075-353-4475

## NMA検査申込書兼承諾書

私は爪を用いたミネラル分析検査について、下記の内容を理解したうえで自分の健康管理の目的で爪分析検査を依頼することを承諾します。

1. 爪分析検査は病気診断のための検査ではないこと。
2. 爪分析検査の結果は治療目的に使用するものではないこと。

お名前 \_\_\_\_\_ 印（必ず押印ください）

生年月日（西暦） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

F A X \_\_\_\_\_

☒アドレス： \_\_\_\_\_

性 別：男・女 \_\_\_\_\_ 年 齢 \_\_\_\_\_ 歳

身長 \_\_\_\_\_ c m 体重 \_\_\_\_\_ k g

爪採取日 20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

メディカルガイド株式会社  
〒600-8216 京都市下京区東塩小路町・2F  
TEL：075-353-4477  
FAX：075-353-4475

## 事前質問内容

この質問は爪検査の結果を正確に判断するために必要なものですので可能な限りご記入ください。なお、お客様のプライバシーに関わる内容につきましては栄養医学研究所が責任をもって管理いたします。該当に○をしてください。\*印は任意でお答えください。

1. マニキュア使用 していた・していない
2. 現在のご職業は下記の一覧に携わるものですか？
  - (ア) 重工業・化学薬品製造・有機溶剤取扱・製鉄業・鮮魚海草類取扱・農薬取扱
  - (イ) アスベスト取扱・ガラス製造・ガラス加工・酒造・宝石加工・金属加工
  - (ウ) 塗装業・歯科医・歯科技工士・歯科勤務・彫刻・彫金・医師・看護婦・薬剤師
  - (エ) 臨床検査技師・レントゲン技師・製本・理容師・美容師・クリーニング業
  - (オ) 酪農業・農業・土建業・漁業・製罐業・トラック、バス運転・電気設備工事
  - (カ) 水道等配管業・汚水処理・消毒殺菌業・板金・車修理・食品加工・鉱物取扱
  - (キ) 家電製造・電池製造・画家
3. 趣味についておうかがいします。  
絵画・園芸・陶芸・彫金・スタンドグラス・エアーブラシ・写真現像・ガラス細工  
ペインティング・その他（ ）
4. ご家庭でお飲みなっている水は？  
水道水・水道水（浄水器）・井戸水・井戸水の比率が50%以上の水道水
5. 現在住んでいる環境の半径200m以内に下記の施設がありますか？  
該当に○をしてください。  
重工業・化学薬品製造業・有機溶剤取扱業・製鉄業・クリーニング業・重金属  
電池工場・ゴミ産廃業者・蛍光灯製造工場・家電品リサイクル工場・ガラスリサイクル工場
6. 現在何かの病気をお持ちの方は具体的な病名をお願いいたします  

---
7. 食後に胃がもたれることが多いですか？ 毎食後・時々・ほとんどない
8. ゲップがでますか？ 毎食後・時々・でない
9. 胃薬を頻繁に飲みますか？飲まない・飲む（商品名をお書きください\_\_\_\_\_）
10. 現在服用している薬はある方は具体的な薬剤名をお願いします  

---
11. 食事と喫煙についてお聞きします。  
どちらかと言えば肉が多い・どちらかと言えば魚が多い  
緑茶を1日3杯以上飲む・コーヒーを1日3杯以上飲む・ウロン茶を1日3杯以上飲む  
紅茶を1日3杯以上飲む・喫煙しない・喫煙する（1日\_\_\_\_本くらい）

